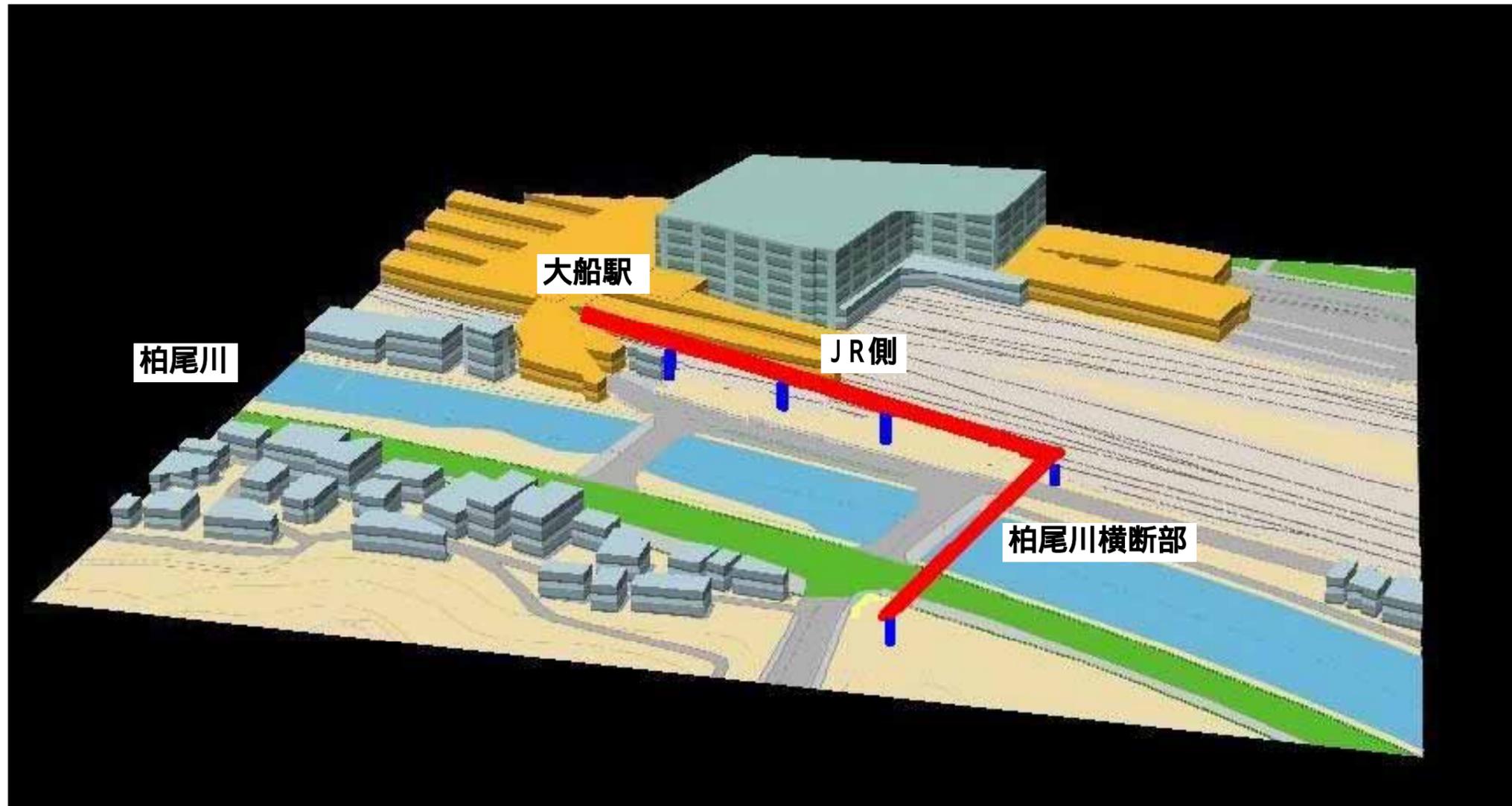


歩行者デッキ計画イメージ図

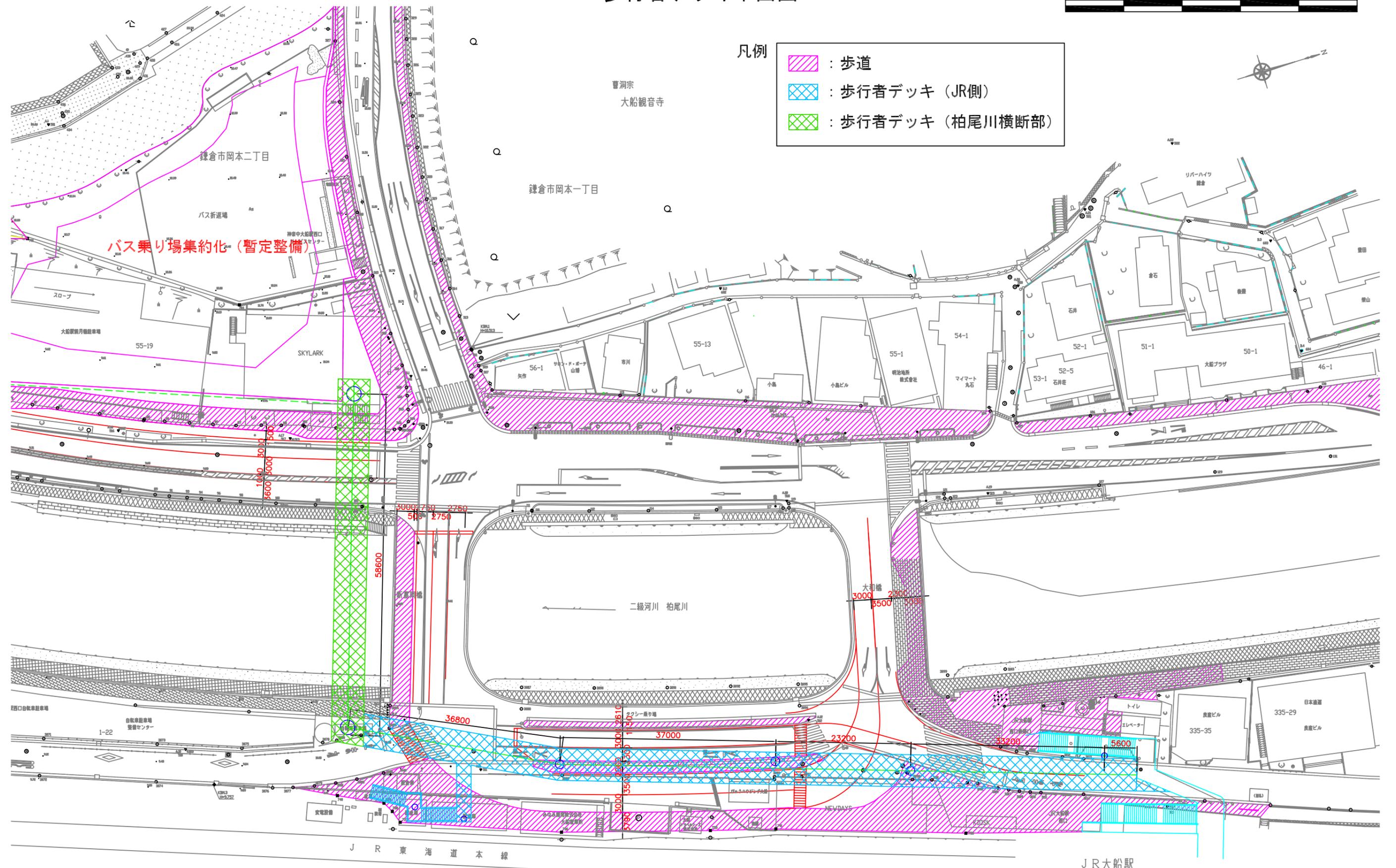


# 歩行者デッキ平面図



凡例

- : 歩道
- : 歩行者デッキ (JR側)
- : 歩行者デッキ (柏尾川横断部)



注1) バス乗り場(集約化)の歩行者デッキへのアクセスについては、関係機関と協議中です。  
 注2) 歩行者デッキの自由通路への接続については、歩行者の動線から最短距離での接続を関係機関と協議中です。

## 1・歩行者デッキ計画の基本方針

『鎌倉市景観計画』に沿った計画を行う。

- ・周辺の山並みに配慮したデザインとする。
- ・周辺の寺社・施設等と調和したデザインとする。
- ・開放感や親しみやすさに配慮したデザインとする。

## 2・周辺環境の特徴

JR側

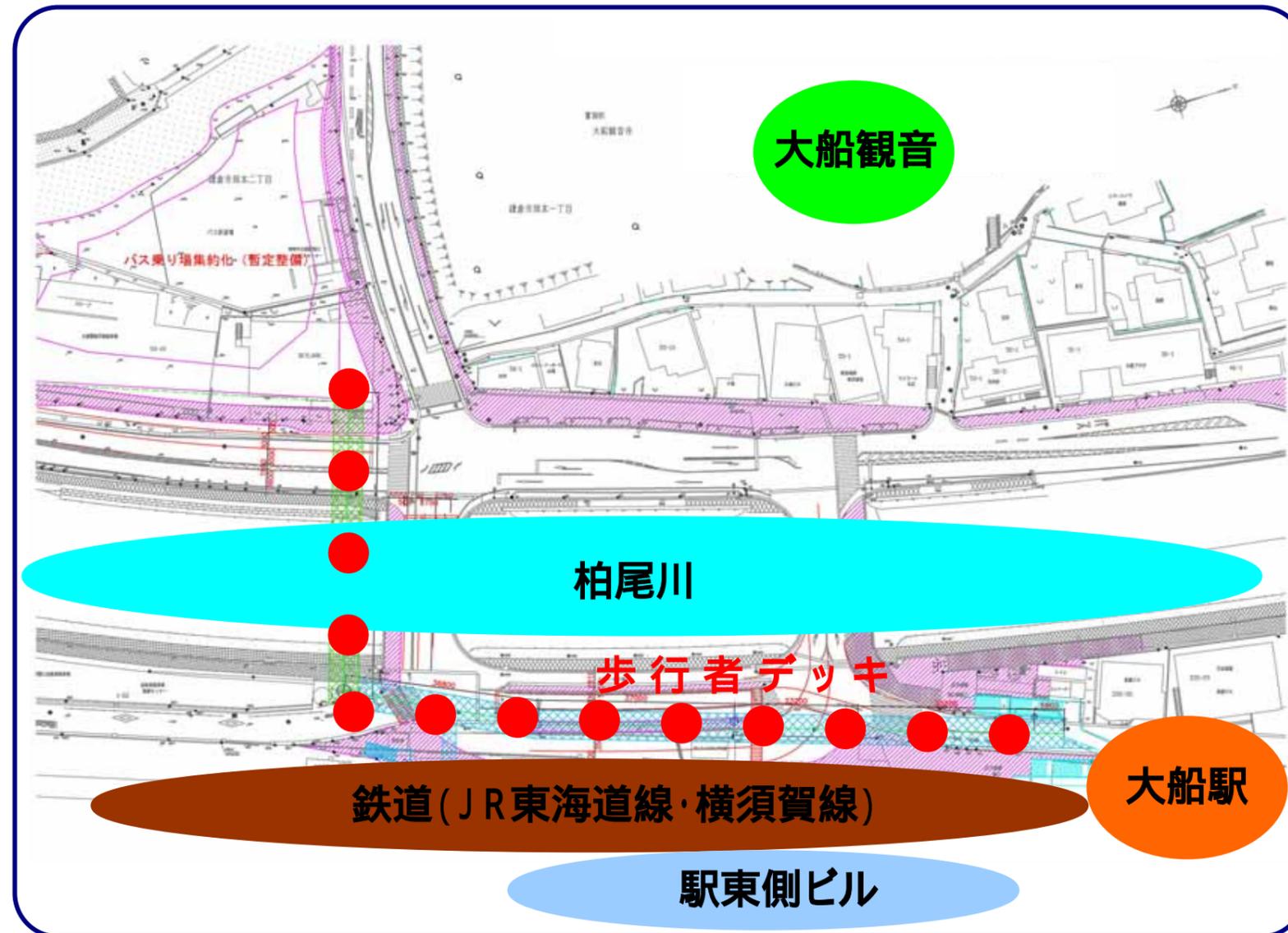
- ・正面に大船観音が位置する。
- ・駅東側のビル、大船駅の駅舎などやや煩雑である。

柏尾川横断部

- ・正面に大船観音が位置する。
- ・鎌倉市景観計画柏尾川ベルトに架かるデッキである。

### 景観要素

- ・計画する歩行者デッキに対して、周辺の景観要素は下図に示すものとなる。
- ・歩行者デッキからの眺望は、主に「大船観音」、「柏尾川」を望む方向となる。



## 3・基本デザインの検討

歩行者デッキのデザイン計画については、主に次の点に着目し検討を行う。

JR側

- ・大船観音を眺望できる柏尾川側を開放的な構造とする。
- ・背景となる駅東側ビル、JR架空線などを考慮し、すっきりとしたデザインとする。

柏尾川横断部

- ・大船観音を眺望できる柏尾川の上流側を開放的な構造とする。
- ・大船観音に極力対峙することのないデザインとする。

#### 4 歩行者デッキに用いる橋りょう形式の比較

##### JR側 構造形式比較表

	第1案 斜張橋形式	第2案 トラス形式	第3案 箱桁形式
景観イメージ	 <p>ケーブルを利用して主柱から斜めに張ったケーブルを橋桁に直接つなぎ支える構造</p>	 <p>桁部分にトラス構造を使った橋である。トラスは細長い部材を両端で三角形につないだ構造でそれを繰り返して桁を構成する構造</p>	 <p>比較的薄肉の板で断面を箱形に構成した立体構造</p>
概要	主柱による3径間連続の斜張橋形式であるため、直線的なイメージのシンボリックな構造形式である。	トラス桁を用いた4径間連続形式の橋りょうであるため、シンプルな構造形式である。	箱桁を用いた4径間連続形式の橋りょうであるため、シンプルな構造形式である。
路面形状	主柱を、歩行者デッキの中央に設置する方法と、デッキの左右に設置する方法が考えられるが、中央に設置した場合、主柱により一部歩行者空間に障害が生じる。	路面上に障害となる構造物がないためフラットな路面形状となり開放的な歩行者空間が得られる。	路面上に障害となる構造物がないためフラットな路面形状となり開放的な歩行者空間が得られる。
経済性	比較構造形式の中で最も割高である。 (第3案を100%とした経済性比率 160%~180%)	箱桁形式より若干割高である。 (第3案を100%とした経済性比率 110%)	比較構造形式の中で最も安価である。 (第3案を100%とした経済性比率 100%)
維持管理	高所作業になり、作業足場をデッキ上部に設けなければならず、利用者への影響が生じる可能性があると考ええる。	作業足場をデッキ下部に設けることから、利用者への影響は少ないと考ええる。	作業足場をデッキ下部に設けることから、利用者への影響は少ないと考ええる。
景観性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デッキ背面の景観要素(鉄道の架線・駅東側ビル)に対して、主構造(柱・吊ケーブル)が高い位置となる形式であることから煩雑なイメージとなり景観上好ましい形式とならないと考えられる。</li> <li>・鎌倉市景観計画に対して、景観上煩雑さが強調される形式であると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デッキ背面の景観要素(鉄道の架線・駅東側ビル)に対して、煩雑になり景観上好ましい形式とならないと考えられる。</li> <li>・鎌倉市景観計画に対して、景観上やや煩雑な形式であると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デッキ背面の景観要素(鉄道の架線・駅東側ビル)に対して、構造がシンプルであることから煩雑なイメージとなることが避けられ、景観上好ましい形式であると考えられる。</li> <li>・鎌倉市景観計画に沿った景観を得られる形式であると考えられる。</li> </ul>

柏尾川横断部 構造形式比較表

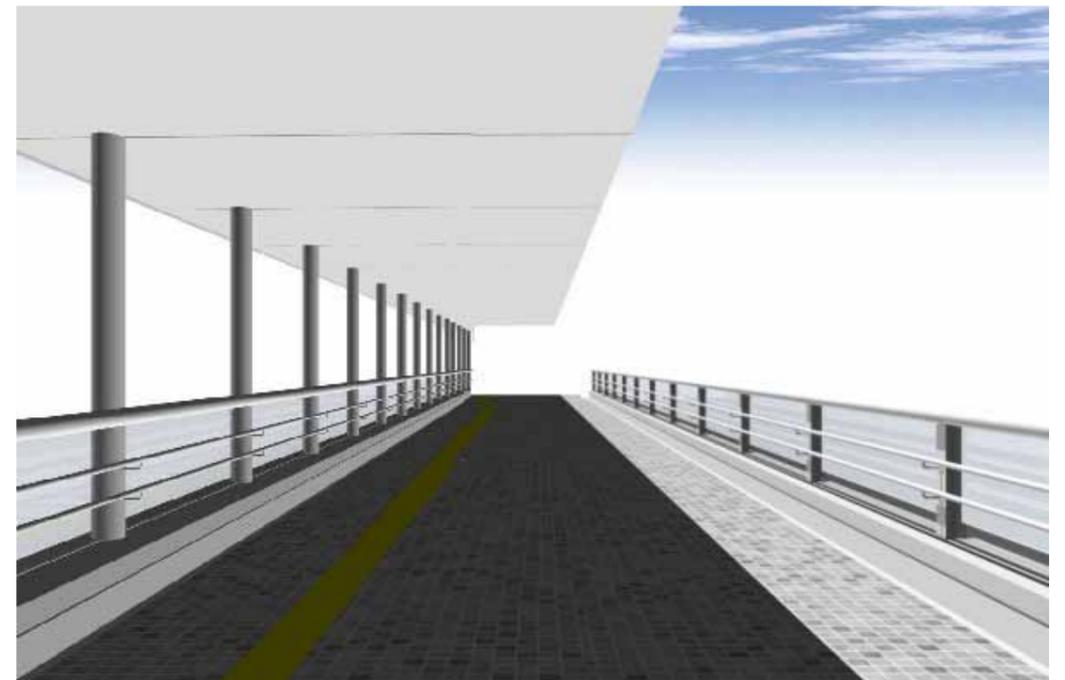
	第1案 斜張橋形式	第2案 トラス形式	第3案 箱桁形式
景観イメージ	 <p>ケーブルを利用して主柱から斜めに張ったケーブルを橋桁に直接つなぎ支える構造</p>	 <p>桁部分にトラス構造を使った橋である。トラスは細長い部材を両端で三角形につないだ構造でそれを繰り返して桁を構成する構造</p>	 <p>比較的薄肉の板で断面を箱形に構成した立体構造</p>
概要	主柱を設けた斜張橋形式であるため、シンボリックな構造形式である。	トラス桁を用いた形式の橋梁であり、シンプルな構造形式である。	箱桁を用いた形式の橋りょうであるため、シンプルな構造形式である。
路面形状	主柱を、歩行者デッキの中央に設置する方法と、デッキの左右に設置する方法が考えられるが、中央に設置した場合、主柱により一部歩行者空間に障害が生じる。	路面上に障害となる構造物がないためフラットな路面形状となり開放的な歩行者空間が得られる。	路面上に障害となる構造物がないためフラットな路面形状となり開放的な歩行者空間が得られる。
経済性	比較構造形式の中で最も割高である。 (第3案を100%とした経済性比 160%~180%)	箱桁形式より若干割高である。 (第3案を100%とした経済性比率 110%)	比較構造形式の中で最も安価である。 (第3案を100%とした経済性比率 100%)
維持管理	高所作業になり、作業足場をデッキ上部に設けなければならず、利用者への影響が生じる可能性があると考ええる。	作業足場をデッキ下部に設けることから、利用者への影響は少ないと考ええる。	作業足場をデッキ下部に設けることから、利用者への影響は少ないと考ええる。
景観性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 景観要素となる柏尾川、山並み、大船観音等に対して、主構造(柱・吊ケーブル)が高い位置となる形式であることから景観を損ねるため景観上好ましい形式とならないと考えられる。</li> <li>・ 鎌倉市景観計画柏尾川ベルトに対して、景観上煩雑さが強調される形式であると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 景観要素となる柏尾川、山並み、大船観音等に対して、トラス形式であるため、構造物が強調されず調和の取れたイメージとなる。</li> <li>・ 鎌倉市景観計画柏尾川ベルトに沿った景観を得られる形式であると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 景観要素となる柏尾川、山並み、大船観音等に対して、箱桁形式としているが、桁が大きくなり柏尾川の景観を阻害してしまう。</li> <li>・ 鎌倉市景観計画柏尾川ベルトに対して景観を損ねる形式であると考えられる。</li> </ul>

## 5 JR側 イメージ図

(「歩行者デッキに用いる橋りょう形式の比較」から箱桁形式を選定)



(内観イメージ)



## 6 柏尾川横断部 イメージ図

(「歩行者デッキに用いる橋りょう形式の比較」からトラス桁形式を選定)



(内観イメージ)

